

令和 8 年度
(2 0 2 6 年度)

公益財団法人
黒部市吉田科学館振興協会
事業計画 (案)

公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会

令和8年度 黒部市吉田科学館事業計画（案）について (2026年度)

1. 黒部市吉田科学館の基本方針

- (1) 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場を提供する
- (2) 自然の不思議に感動し、創造や発見の喜びを知る場を提供する
- (3) 誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民と共につくる
- (4) 幅広く外部と協力し、地域学習・探究活動を支援する
- (5) 科学博物館として持続可能な地域づくりに貢献する

※市民：黒部市民に限らず広く同じ目的を持つ同志を意味する。

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 令和8年度（2026年度）の主な事業について

科学館事業

- (1) 特別展 化石を学ぶ（仮題）
- (2) 企画展 五感で読む石ころ 展（仮題）
- (3) 開館40周年記念
オリジナルプラネタリウム番組「マーズ・ツアーズ（仮題）」
- (4) 開館40周年記念
科学館ウィーク「ありがとう40周年！（仮題）」
同時開催 パネル展「黒部市吉田科学館40年のあゆみ」&クイズラリー

・メイン事業

項 目	内 容	予算（単位：円）		
特別展	（１）化石を学ぶ（仮題） 実施時期：１１月～２月頃 目的・ねらい： 化石とは何かをわかりやすく紹介するとともに、化石に秘められたメッセージを読み解くことで、過去の環境や生物の姿についてどのようなことがわかるのかを学ぶきっかけを提供する。 展示内容： 立山黒部ジオパークでみつかっている化石標本(カメ、アンモナイト、貝類、植物類)を中心に、展示を行う。年代や環境等、化石からわかることの紹介や、どのような場所から化石が見つかるかの解説も行う。	消耗品費 委託費 印刷製本費	50,000 50,000 50,000	
		小 計	150,000	
連携 イベント	■ 化石関連の講演会	諸謝金 旅費交通費	30,000 2,000	
		小 計	32,000	
企画展	（２）五感で読む石ころ展（仮題） 実施時期：７月～９月 目的・ねらい： 石ころからわかる様々な情報を五感で感じられるように展示する。令和７年「石ころを読む」の再展示として行うが、視覚や聴覚に障害のある方にもわかりやすくリニューアルする。 展示内容： 当館に収蔵されている鉱物標本を中心に、岩石や鉱物標本を展示する。また、3Dプリンターで原子模型を作成し、さわって性質を理解できるようにする。十字石や、宇奈月花崗岩のジルコンなど、地域との結びつきも紹介する。	消耗品費 委託費 印刷製本費	100,000 100,000 50,000	
		小 計	250,000	
連携 イベント	■ 鉱物関連の講演会	諸謝金 旅費交通費	30,000 2,000	
		小 計	32,000	
		計	464,000	<参考> 前年度企画展： 512,000 円

・メイン事業

(3) オリジナルプラネタリウム番組

項 目	内 容	予算（単位：円）		
新作番組	タイトル： 開館 40 周年記念オリジナル番組 「マーズ・ツアーズ（仮題）」 放映期間：令和 8 年 7 月中旬～12 月 目的・ねらい： 開館 40 周年を記念して、人類が「月」の次に目指している「火星」の有人探査を、一足早く来館者に体験していただく。さらに地球と火星の共通点や相違点を知ること、改めて地球の大切さを感じてもらう。 ※2026 年は約半世紀ぶりの月有人飛行（NASA）や、世界初の火星衛星サンプルリターン計画（JAXA）の打ち上げが予定されている。 番組内容： 「ムーン・ツアーズ（2019 年制作）」のキャラクターたちが再登場し、今度は私たちが火星旅行に招待する。さらに、石ころの展示を見にきていたコパンダ石くんや展示中のジルコンじいさんも、火星の石に会うために同行する。 太陽系最大の火山オリンポス山や、巨大なマリネリス峡谷、ドライアイスに覆われた極冠などの火星の名所を巡りながら、大昔の火星に海があったのか？火星に生き物はいるのか？などの秘密を探っていく。果たして私たちは無事に火星にたどり着き、そして地球に帰ってくることができるのだろうか？ ※企画展「五感で読む石ころ展」との連携放映		800,000	
再放映番組	タイトル：「ハレー彗星が来る年に」 (2016 年制作) 放映期間：令和 9 年 1～3 月 番組内容： 開館 30 周年を記念して制作した番組で、76 年毎に出現する「ハレー彗星」をテーマにしている。科学館が開館した 1986 年に現れた「ハレー彗星」をきっかけに、2061 年の黒部に住む少女に起こる不思議な巡り合わせを描くファンタジーストーリーとなっている。		0	
		計	800,000※	※オリジナル番組制作委託料は黒部市生涯学習文化課予算より

・特別事業

項 目	内 容	予算（単位：円）		
特別事業 （日常の科学・地域の科学・宇宙の科学）	(4) (主) GW、お盆期間のイベント開催 来館者が増える大型連休期間にワークショップなどを開催。	消耗品費	10,000	ちらし印刷紙代 （一部日常の科学に計上）
	(5) (主) 科学館ウィーク「ありがとう 40 周年！」 同時開催 パネル展「黒部市吉田科学館 40 年のあゆみ」&クイズラリー 期間（仮）： 11/14（土）～23（月・祝） ※パネル展とクイズラリーは期間後も開催する。 子どもから大人まで、気軽に科学館を楽しんでもらうため、科学館の 3 つのコンセプトに基づいたイベントを関連施設の協力を得ながら開催する。 あわせて、開館 40 周年を記念して、科学館の 40 年のあゆみをパネル展示で振り返る。また、科学館に関するクイズに正解するとオリジナル缶バッジがもらえるクイズラリーを開催する。  開館 40 周年ロゴ クイズ例) 科学館が開館した 1986 年に現れた彗星は？ 答：ハレー彗星  パネル展示イメージ（写真は開館 30 周年）  クイズラリーイメージ（画像はプラネタリウム 100 周年）	消耗品費	80,000 100,000	景品代 パネル・バッジ 制作等
		諸謝金	20,000	講師謝金
		食糧費	20,000	講師・スタッフ昼食
		印刷製本費	150,000	ポスター・ちらし
		通信運搬費	70,000	県内学校配布
		委託費	10,000	駐車場誘導
		計	460,000	＜参考＞ 前年度予算 380,000 円

・ 日常の科学

項 目	内 容	予算（単位：円）		
講座体験事業	■ 工作教室 (6) (主) 親子工作教室 (外部講師による教室・年3回程度) (7) (主) イベントでの工作、団体工作 (8) (主) 折り紙ヒコーキ工作教室（年1回）	(工作教室) 消耗品費	30,000 70,000	定例工作教室 イベント工作等
		(折り紙) 消耗品費 食糧費 賃借料 印刷製本費 通信運搬費 諸謝金	30,000 15,000 10,000 40,000 30,000 30,000	協会準備金 講師スタッフ昼食 会場賃借料 ちらし印刷 ちらし配布 司会スタッフ等
	■ サイエンスショー（年3回切替え） (9) (主) 日常生活に関するテーマでの 実験ショー 5～8月「電気のふしぎ」 9～12月「光と音のふしぎ」 1～4月「エネルギーのふしぎ」 （平日午前予約制 午後1回、土日祝日2回開演）	消耗品費	150,000	(1テーマ 50,000×3)
展示事業	■ クラブ活動（共催事業） (10) (共) 黒部少年少女発明クラブ(月1回程度) (11) (共) 小学校クラブ活動の指導 ■ 出前工作教室 (12) (共) 地域のイベント等への参加 ■ プログラミング事業 (13) プログラミング体験教室 ・ドローン教室など	諸謝金 消耗品費 旅費交通費	64,000 10,000 5,000	プログラミング教室
	■ 常設展 (14) (主) 体験型展示物の設置・管理	消耗品費	60,000	
	■ 児童作品展示会の実施 (15) (共) 魚津地区理科自由研究発明くふう 参考展 (16) (共) 黒部市少年少女発明くふう展 (17) (共) 黒部市小中学校児童生徒科学作品 展覧会	(発明クラブ予算より支出)		
調査研究事業	■ 調査研究 (18) 発明クラブ会合出席 (19) 他館への視察等	旅費交通費	20,000	視察等
		計	564,000 円	<参考> 前年度予算 484,000 円

・地域の科学

項 目	内 容	予算（単位：円）		
展示事業	■ 常設展示 (20) 岩石標本（下坂コレクション）や、黒部市内外で収集した岩石試料を用いた常設展示の作成 (21) 点字解説パネルの作成			
講座体験事業	■ 岩石標本公開 (22) 常設されていない岩石標本を一般向けに公開する日を設ける（5 回程度） ■ 講座体験事業 (23)（主・共）ジオパーク体験講座 ・岩石鑑定（1 回程度） ・境海岸での化石観察 ・川の生き物観察（2 回程度） ・雪の観察 (24)（共）フィールドウォッチング 夏：昆虫の観察 秋：野鳥観察 (25)（共）くろべ水の少年団（6～8 月・年 7 回）	（自然教室） 旅費交通費 賃借料 諸謝金 食糧費	20,000 170,000 30,000 5,000	外部講師・ボランティア旅費 バス 4 回 観察会謝金 ボランティア食事代
プラネタリウムドーム事業	■ 立山黒部ジオパーク映画の上映 (26)（主）ジオパーク映画の投映 (27)（共）市内小学校対象の学習投映			
調査研究事業	■ 調査研究 (28) 立山黒部ジオパーク協会 ワーキンググループへの参画 (29) 関連研修会、学会への参加・発表 (30) 岩石化石標本の収集・整理・研究 (31) 富山湾の丸さの調査 (32)（共）3D プリンターを用いた教材開発 (33)（共）「剣の山」教育効果の検証 (34) 論文執筆 (35) 目や耳に障害のある方でも楽しめる「ユニバーサルジオツアー」の開発	旅費交通費 支払負担金 消耗品代 委託費	243,000 (68,000) (49,000) (10,000) (116,000) 45,000 100,000 10,000	千葉 3 日 大阪 2 日 北陸内 日帰り 複数回 黒部学会巡検 福島 3 日 参加費 ワークショップ 開発材料費 英文校正
		計	623,000	<参考> 前年度予算 825,000 円

・地域の科学

項 目	内 容	予算（単位：円）		
フィールドミュージアム事業	■黒部川扇状地フィールドミュージアム推進協議会の資源を活用し、当館が協議会の事業を引き継ぎ、フィールドツアー事業、扇状地の水質調査を継続して行う（10年目）。 （36）（主）ジオ&みずはくツアー 黒部川扇状地の成り立ちと水・自然・歴史をバスで巡る体験型フィールドツアーで、季節や水循環、自然、動植物などテーマを変えながら年5回開催。 （37）（主）ジオ&みずはく団体ツアー 黒部川流域の名水スポットや自然・歴史等の名所を巡り、黒部川の水循環を知りたい方に解説ボランティアを派遣 （開催日1か月前までに申込）。 （38）（主）黒部川調査隊 黒部川の流れの速さ、水質、石ころなど実際にふれてもらいながら学んでもらう体験教室。	諸謝金 旅費交通費 賃借料 印刷製本費 通信運搬費 消耗品費	270,000 20,000 748,000 300,000 51,000 135,000	講師、ツアー解説員謝礼 講師旅費 バス賃借料 ポスター、チラシ印刷費 ポスター郵送費 ツアー消耗品
調査研究事業	■調査研究 （39）黒部川扇状地の湧水調査（黒部市内）	消耗品費 修繕費 燃料費 旅費交通費	100,000 20,000 15,000 20,000	調査備品 備品修繕 調査用移動車ガソリン 研修出席旅費
		事業費計 人件費計	1,679,000 <u>1,371,000</u> 計 3,050,000	

※収入（見込） 黒部市補助金 3,000,000 円 ツアー参加費 500 円

・宇宙の科学

項 目	内 容	予算（単位：円）		
プラネタリウムドーム事業	■プラネタリウム投映 (40) (主)一般番組 サブスクリクション制を活用し、年間 3 本の番組を導入。一般向け科学番組、子供向けアニメキャラクター番組など幅広いニーズに合わせて番組を投映する。 (41) (主) 職員生解説番組 職員生解説による当日の星空解説と 3D での Mitaka の投映 (42) (主) 学習番組 小学 4 年生・中学 3 年生向け投映 (43) (主)オリジナル番組一挙投映（年 1 回） 科学館が過去作成したオリジナル番組の一挙投映日	賃借料 印刷製本費 委託費 通信運搬費 諸謝金	3,300,000 280,000 280,000 230,000 60,000	一般番組賃借料 ホスターリーフレット年 4 回 デザイン委託年 4 回 ホスター等送付年 4 回 生解説投映
	■プラネタリウムドーム多目的利用 (44) (主)ヒーリングプログラム（年 3 回程度） 生演奏コンサート、熟睡プラ寝たリウム (45) (主)天文講演会（年 2 回程度） ・七夕講演会等 ・オーロラと関連したイベント (46) (主)プラネタリウムショー(年 1 回) (47) (主)プラネタリウム個人貸切利用プラン 毎月第 4 土曜日（16:00～17:00）を設定し、1 組（5 名まで）1,500 円で希望番組を投映する	消耗品費 消耗品費 賃借料 諸謝金 諸謝金 食糧費 旅費交通費 旅費交通費 印刷製本費 通信運搬費	40,000 10,000 10,000 150,000 70,000 20,000 70,000 150,000 200,000 50,000	プラネ機器等 ヒーリング消耗品費 音楽使用料 講演会・プラネショー等 講師謝金(オーロラ) 講演会・プラネショー等 講演会・プラネショー等 講師旅費(オーロラ) 講演会・プラネショー等 講演会・プラネショー等
講座体験事業	(48) (主)星空観察会(月 1 回) (49) (主)初めての天体望遠鏡教室（年 1 回） (50) (共)出前天文教室 くろべこども自然体験村・星空トロッコなどでの星空解説 (51) (主)星空プログラミング in 黒部 小学校 4～6 年生を対象に、プラネタリウム番組制作およびドームでの投映発表 ※日常の科学プログラミング連携事業	諸謝金 消耗品費	80,000 15,000	講師謝金 望遠鏡関連
展示事業	(52) 宇宙関連の常設展示・天文現象などの写真展示 (53) 低緯度オーロラの写真展	消耗品費	10,000	
調査研究事業	(54) 流星の電波観測・光学観測 (55) 総会、研修会への参加 ・国際プラネタリウム協会 ・日本プラネタリウム協議会総会、研修会 ・北陸プラネタリウムWG 研修会 ・全天周映像に関する研修会 ・プラネタリウム館への視察 (56) プラネタリウム関連の調査研究 ・全天周映像を用いたオリジナル番組制作 ・プラネタリウム番組制作ソフトの活用	消耗品費 旅費交通費 支払負担金	35,000 (15,000) (20,000) 165,000 (40,000) (125,000) 10,000	各資料購入費用 ワークショップ 開発材料費 研修参加費等 北陸 WG 複数回 福岡 7 日間
		計	5,235,000	<参考> 前年度予算 4,940,000 円

・連携事業

内 容	予算（単位：円）		
(57) 他博物館との連携事業 ・ 黒部市内博物館等施設スタンプラリー ・ 他博物館との連携イベントの開催			

事務局運営

内 容	予算（単位：円）		
(58) 広報活動 ・ 地域広報誌等での広報活動 ・ ホームページ、SNSでの広報活動 (59) 年報の発行 (60) 来館者アンケートの実施 (61) 研修 科学博物館協議会等の研修への出席、視察研修等	旅費交通費 諸謝金	50,000 40,000	